

千葉支部 2024年度 秋の文化活動報告 2024年10月6日開催 お茶大構内と音羽の谷の散策－昔の川跡をたどる

文京区大塚や小日向といった地域は、武蔵野台地の東端に位置し、神田川やその支流の谷に刻まれ、アップダウンの大きい地形となっています。お茶大の中も高低差があり、階段や坂道を上り下りしながら、構内を散策しました。正門から続く並木道や徽音堂、大学図書館や食堂などはほとんど変わらぬ姿でしたが、新しい学生寮「音羽館」は今風のおしゃれな建物で、ミニキッチンが付いた個室とのこと。昭和の大山寮や学内寮との違いに、ひとしきり話が盛り上がりました。「お山の上」と呼んでいた高所には、茶室や学生会館、その西側は新しく開設された共創工学部の研究棟が見られ、時代とともに大学も変化していることを感じます。さらに北側の崖下には、以前と変わらぬ体育館やテニスコート、グラウンドがありました。周辺の草地は構内のこども園の良い遊び場となっていたそうです。

昼食は国際交流留学生プラザで、仕出しのお弁当とお茶をおいしくいただきました。「皆さんとお話できるのが楽しみ」と午前中から部屋でお待ちいただいた方々も含め、ひとりずつ近況報告をして、楽しいひと時を過ごしました。午後は大学を出て、音羽の谷を流れていた水窪川の上流から、昔の川跡（現在は暗渠になっている）をたどりました。特別参加の現役大学院生（兼博物館学芸員）には、護国寺の門前町である音羽通りの歴史について解説してもらいました。

参加者からは、「大学の構内や音羽の谷を歩くことで、新しいことを知り、より身近なものになってきました」「皆さんの元気で活動的な様子を拝見して、もうひと元気出そうという気持ちになりました」などの感想をいただきました。今回午前・午後と留学生プラザの部屋をお借りしたことで、時間に追われず、体調に合わせて行事を進めることができましたように思います。ご協力ありがとうございました。



お茶大正門から徽音堂へ続く並木道、変わらぬ風景



水窪川上流の吹上稲荷神社前で音羽の歴史について解説

桜蔭会千葉支部総会・講演会・懇親会のお知らせ

記

日時 2025年4月20日（日）
会場 国際交流留学生プラザ同窓会 commons 4 階共用室
（お茶の水女子大学正門右側の建物）

懇親会会費 3000円（講演会のみ参加の場合不要）

受付及び入室開始 10:00
開会 10:20
講演会 10:30 ～ 11:30
総会 11:45 ～ 12:20
懇親会 12:30 ～ 14:30

- ・出欠のご返事は、4月13日（日）までに、可能な限りWEBかメールでお願いいたします（ZOOMでご参加の方は必ず）。
- ・ZOOM接続方法が不明な方はお問い合わせください。
- ・懇親会をキャンセルされる場合、4月18日（金）までにご連絡下さい（それ以降は会費のご負担をお願いいたします）。
- ・食物アレルギーの方は出席回答時にお申し出ください。

連絡先: 吉原弓賀 Tel 04-7157-4381, 080-5404-7803

- ※1) WEBでのご返事（回答フォームより）
<https://forms.gle/ec5Q27kAFFaipxq76>
- 2) メールでのご返事

宛先: ouinkai.chiba2025.spring@gmail.com
件名を「出席（会場）」「講演会のみ出席（会場）」
「出席 ZOOM」または「欠席」として①氏名、②卒業年・学科、③住所、④近況をお送りください。



講演会「英国女王の品格」

講師 多賀幹子氏

ジャーナリスト。お茶の水女子大学文教育学部卒業。企業広報誌の編集長を経て、フリージャーナリストに。ニューヨークに5年、ロンドンに6年ほど暮らす。女性、教育、社会問題、異文化、ヨーロッパの王室、特に英王室を中心に取材。執筆活動のほか、テレビ出演、講演活動などを行う。公益財団法人 北野生涯教育振興会論文審査員。著書に『孤独は社会問題』（光文社新書）、『親たちの暴走』『うまくいく婚活、いかない婚活』（共に朝日新書）、『英国女王が伝授する70歳からの品格』（KADOKAWA）などがある。